2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年８月10日

上場会社名	小池酸素工業株式会社		上場取引所　東
コード番号	6137	ＵＲＬ　https://www.koike-japan.com	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）小池　英夫	
問合せ先責任者	（役職名）代表取締役副社長執行役員 管理部長	（氏名）冨岡　恭三	ＴＥＬ　03-3624-3111
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	12,024	4.5	545	△8.5	808	5.3	355	△19.0
2026年３月期第１四半期	11,509	△1.7	596	△35.4	767	△38.7	438	△43.0

（注）包括利益　2027年３月期第１四半期 1,512百万円 （92.5%）　2026年３月期第１四半期　786百万円 （△49.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	16.83	―
2026年３月期第１四半期	20.80	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期第１四半期	79,203	50,439	59.8
2026年３月期	79,112	50,079	59.3

（参考）自己資本　　2027年３月期第１四半期　47,343百万円　　2026年３月期　　46,937百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	―	―	50.00	50.00
2027年３月期	―				
2027年３月期（予想）		―	―	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	25,000	7.9	1,300	27.1	1,500	18.7	800	36.8	37.90
通期	56,000	0.8	4,800	△0.9	5,300	△1.1	3,400	△1.8	161.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	22,614,665株	2026年３月期	22,614,665株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	1,504,560株	2026年３月期	1,504,380株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	21,110,150株	2026年３月期１Ｑ	21,081,398株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
３．補足情報 …… 11
受注の実績 …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費に減速傾向がみられたものの、AI関連設備投資やエネルギー関連投資等を中心に企業設備投資が底堅く推移しましたが、中国では内需の低迷等を背景に景気は減速しているほか、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まり等、先行き不透明な状況となりました。

一方、わが国経済は、雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかに回復しているものの、物価上昇の継続や海外経済の不確実性により、先行き不透明な状況となりました。

当社グループの主需要先である造船業界では引続き高い水準の手持ち工事量を維持しており、産業機械業界では受注は増加傾向にあり需要回復の動きが期待され、建設業界では建設投資需要は底堅く推移しているものの、建設資材の高止まりや人手不足、鉄骨需要の低迷が継続しており、予断を許さない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画で掲げた「世界市場での顧客満足の実現と収益基盤の強化」に向けた拡販活動の推進や収益力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第１四半期連結累計期間の売上高は120億24百万円（前年同期比4.5％増）、営業利益は５億45百万円（同8.5％減）、経常利益は８億８百万円（同5.3％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は３億55百万円（同19.0％減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、造船業界において手持ち工事量が増加するなど比較的順調に推移した一方、他の需要先において仕事量の減少傾向が続く中、新規顧客への営業活動強化ならびに当社オンリーワン技術のDBC（Dual Beam Control）ファイバーレーザー切断機につき18kWから40kWへ高出力化するとともに、従来の垂直切断から斜めに切断する開先切断まで適用範囲を拡大し、拡販に注力しました。海外市場においては、韓国・中国にて造船業界の設備投資に回復傾向がみられており、また米国市場においては40kW-DBCファイバーレーザー切断機の販促活動を強化しております。

その結果、売上高は45億52百万円（前年同期比1.4％減）、セグメント利益は４億99百万円（同44.5％増）となりました。

高圧ガス

産業ガス分野においては、市場環境に停滞がみられるなか、原材料や物流コストの上昇等に伴う価格改定、取引の深耕や拡大および新規拡販活動に注力しました。医療分野においては、仕入価格の上昇等に伴う価格改定、CPAPレンタルをはじめとした在宅用医療機器レンタルの営業活動を強化しました。

その結果、売上高は50億31百万円（前年同期比3.8％増）、セグメント利益は３億60百万円（同5.7％減）となりました。

溶接機材

溶接機材においては、自動溶接設備の納入やファイバーレーザー溶接機などの拡販に注力しましたが、コスト上昇などの要因により利益は減少しました。

その結果、売上高は22億22百万円（前年同期比13.9％増）、セグメント利益は91百万円（同15.4％減）となりました。

その他

その他の部門においては、海外向けの排ガス処理装置の受注が好調に推移したことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は２億18百万円（前年同期比136.2％増）、セグメント利益は40百万円（同71.1％増）となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は792億３百万円で、前連結会計年度末比91百万円の増加となりました。

流動資産合計は401億65百万円で、前連結会計年度末比14億49百万円の減少となりました。これは主に仕掛品が６億37百万円増加、原材料及び貯蔵品が４億11百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が22億70百万円減少、現金及び預金が６億91百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は390億38百万円で、前連結会計年度末比15億40百万円の増加となりました。これは主に投資有価証券が13億94百万円増加したことによるものです。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の負債合計は287億64百万円で、前連結会計年度末比２億68百万円の減少となりました。

流動負債合計は206億71百万円で、前連結会計年度末比６億13百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が６億81百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は80億92百万円で、前連結会計年度末比３億44百万円の増加となりました。これは主に繰延税金負債が４億４百万円増加したことによるものです。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は504億39百万円で、前連結会計年度末比３億59百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益３億55百万円を計上し、剰余金の配当が10億55百万円あった結果、利益剰余金が７億円減少した一方、その他有価証券評価差額金が９億99百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は59.8％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月13日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （2026年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,721	16,029
受取手形及び売掛金	10,368	8,097
電子記録債権	5,220	5,430
有価証券	64	15
商品及び製品	4,713	4,989
仕掛品	1,792	2,430
原材料及び貯蔵品	1,938	2,350
その他	1,068	1,142
貸倒引当金	△273	△321
流動資産合計	41,614	40,165
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,857	3,850
機械装置及び運搬具（純額）	1,301	1,297
工具、器具及び備品（純額）	1,371	1,450
土地	6,142	6,141
リース資産（純額）	1,297	1,304
建設仮勘定	673	870
有形固定資産合計	14,644	14,913
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	604	436
無形固定資産合計	606	438
投資その他の資産		
投資有価証券	13,690	15,085
投資不動産	4,960	4,935
繰延税金資産	55	79
退職給付に係る資産	2,236	2,268
その他	1,351	1,363
貸倒引当金	△47	△46
投資その他の資産合計	22,246	23,686
固定資産合計	37,497	39,038
資産合計	79,112	79,203

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,770	6,088
電子記録債務	3,785	3,826
短期借入金	5,221	5,084
１年内返済予定の長期借入金	182	182
リース債務	840	848
未払法人税等	536	297
賞与引当金	942	834
役員賞与引当金	120	120
受注損失引当金	23	27
製品保証引当金	149	153
その他	2,712	3,207
流動負債合計	21,285	20,671
固定負債		
長期借入金	365	319
リース債務	960	941
繰延税金負債	5,347	5,752
再評価に係る繰延税金負債	442	442
役員退職慰労引当金	46	44
退職給付に係る負債	243	248
資産除去債務	16	16
その他	326	327
固定負債合計	7,747	8,092
負債合計	29,032	28,764
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,126	2,129
利益剰余金	30,326	29,626
自己株式	△678	△678
株主資本合計	35,803	35,105
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,965	7,965
土地再評価差額金	913	913
為替換算調整勘定	2,395	2,533
退職給付に係る調整累計額	859	825
その他の包括利益累計額合計	11,134	12,238
非支配株主持分	3,141	3,095
純資産合計	50,079	50,439
負債純資産合計	79,112	79,203

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
売上高	11,509	12,024
売上原価	7,843	8,280
売上総利益	3,665	3,744
販売費及び一般管理費	3,069	3,198
営業利益	596	545
営業外収益		
受取利息	34	35
受取配当金	96	107
受取賃貸料	87	88
物品売却益	27	41
為替差益	3	11
その他	33	82
営業外収益合計	284	367
営業外費用		
支払利息	32	38
賃貸費用	37	39
持分法による投資損失	34	1
その他	8	26
営業外費用合計	113	104
経常利益	767	808
特別利益		
固定資産売却益	10	0
役員退職慰労引当金戻入額	7	－
特別利益合計	17	0
特別損失		
固定資産除売却損	4	9
減損損失	－	157
特別損失合計	4	166
税金等調整前四半期純利益	780	641
法人税、住民税及び事業税	200	296
法人税等調整額	75	△67
法人税等合計	275	228
四半期純利益	504	413
非支配株主に帰属する四半期純利益	66	57
親会社株主に帰属する四半期純利益	438	355

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
四半期純利益	504	413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	827	998
繰延ヘッジ損益	0	－
為替換算調整勘定	△519	136
退職給付に係る調整額	△27	△34
その他の包括利益合計	281	1,099
四半期包括利益	786	1,512
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	766	1,459
非支配株主に係る四半期包括利益	19	53

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年６月30日）
減価償却費	443百万円	525百万円
のれんの償却額	0	0

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機械装置	高圧ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,618	4,847	1,950	11,416	92	11,509	－	11,509
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	4,618	4,847	1,950	11,416	92	11,509	－	11,509
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	4,618	4,847	1,950	11,416	92	11,509	－	11,509
セグメント利益	345	381	108	835	23	859	△262	596

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

２．セグメント利益の調整額△262百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△485百万円、棚卸資産の調整額108百万円及びその他の調整額114百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	機械装置	高圧ガス	溶接機材	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,552	5,031	2,222	11,806	218	12,024	－	12,024
その他の収益	－	－	－	－	－	－	－	－
外部顧客への売上高	4,552	5,031	2,222	11,806	218	12,024	－	12,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－	－	－
計	4,552	5,031	2,222	11,806	218	12,024	－	12,024
セグメント利益	499	360	91	950	40	991	△446	545

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃焼式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

２．セグメント利益の調整額△446百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△496百万円、棚卸資産の調整額△5百万円及びその他の調整額55百万円が含まれております。
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前第１四半期連結累計期間（自　2025年４月１日　至　2025年６月30日）

地域ごとの情報

売上高

（単位：百万円）

日本	米国	アジア	欧州	その他の地域	合計
8,780	1,397	1,002	246	82	11,509

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第１四半期連結累計期間（自　2026年４月１日　至　2026年６月30日）

地域ごとの情報

売上高

（単位：百万円）

日本	米国	アジア	欧州	その他の地域	合計
9,180	1,429	1,021	300	93	12,024

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

３．補足情報

受注の実績

当第１四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（百万円）	前年同四半期比（％）	受注残高（百万円）	前年同四半期比（％）
機械装置	5,993	105.7	8,364	89.5

（注）１．金額は販売価格によっております。

２．上記金額には、消費税等は含まれておりません。

３．受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。